

【別紙様式】

鹿児島県は、新型コロナウイルス感染症への対応として、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、制度要綱に定める交付対象事業の要件「新型コロナウイルスの感染拡大の防止及び感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活の支援を通じた地方創生に資する事業」に該当する以下の事業を実施します。

事業名	第12回全国和牛能力共進会推進事業		
総事業費 (千円)	55,000千円	交付金関連事業費 (交付対象経費) (千円)	55,000千円
事業概要	<p>①目的 令和4年度に本県で開催される第12回全国和牛能力共進会（以下、「第12回全共」）の馬術競技場の保全及び会場敷地整備費、全共開催後の国体馬術競技場への原状復旧等の実施に要する経費を支援する。</p> <p>②交付金を充当する経費・算定根拠 負担金：55,000千円 (55,000千円の内訳) ・以下全体事業費（55,000千円）（別途地方競馬協会から団体に直接55百万円補助あり） ア 馬術競技場保全及び全共会場敷地整備 89,700千円 イ 馬術競技場復旧工 18,100千円 ウ 測量設計監理費 2,200千円</p> <p>③交付対象 1) 交付対象者（事業実施主体） 第12回全国和牛能力共進会推進事業を実施する者（第12回全国和牛能力共進会鹿児島県実行委員会）1者 2) 交付対象者の選定理由・選定方法 上記事業費については、新型コロナウイルス感染症の影響で新たに発生した経費であり、事業実施主体では想定していなかった経費である。財源が確保できずに敷地整備等ができない場合、大会の開催自体が困難になることから、事業実施主体である第12回全国和牛能力共進会鹿児島県実行委員会を交付対象者として、負担金を交付する。 (大会の開催にあたっては、H29以降関係団体等が負担金を納入)</p> <p>④期待される効果 第12回全共の開催、国体馬術競技の開催による経済効果</p>		
新型コロナウイルス感染症への対応（経済対策）との関係	<p>新型コロナの感染拡大に伴い、「かごしま国体」の開催が令和5年に延期となり、全共開催前の馬術競技場の保全と全共開催後の馬術競技場への復旧が新たに必要となったが、事業実施主体である第12回全国和牛能力共進会鹿児島県実行委員会においては、全体事業費110,000千円の財源確保が困難な状況にある。</p> <p>鹿児島県実行委員会を交付対象者として負担金を交付し、全共の開催を支援する本事業は、新型コロナの感染拡大の影響を受けている地域経済の支援を通じた地方創生に資する事業に該当するものであり、地方創生臨時交付金を活用することが妥当である。</p>		